

《参加選手注意事項》

1. 2026 年度全日本少年少女空手道選手権大会（グラチャン）の権利獲得者は、権利申告と繰り上がりによる権利取得を報告しなければいけないため、必ず受付で申し出てください。
2. 選手は規定の清潔な空手着を着用すること。ゼッケンはきちんとはがれない様に背中に貼り付けてください。サポーターは規定に従って着用してください。
3. 試合では、道着の中に着用する T シャツの色は「白」のみとする。
4. 髪の毛を極端な金髪等に染めている選手は試合に出場出来ない場合もあります。
5. 選手は爪を短く切り、身だしなみを整えて試合に臨んでください。
6. 契約体重(申込用紙体重)を幼・小・中・高は± 3 kg、その他は± 5 kg で全ての試合が減点 1 からの試合になります。体重制限のあるクラスでは体重オーバーは失格となります。また、遅刻した場合も失格になります。やむを得ない事情で棄権する場合は、必ず大会事務局まで連絡して下さい。無断で棄権した場合は 15 万円以下の罰金をお支払いいただきます。
※計量時は、上衣は T シャツ、下衣は道着を着用しておこないます。
7. 選手控室は小競技場となります。女子の着替えは女子更衣室をご利用ください。
8. テーピングをする場合は必ずテーピング箇所にて大会医師のサインを頂いて下さい。それ以外のテーピングは認めません。
9. アナウンスが選手の名前をコールしても試合場に現れない場合は失格となります。
10. 受付をする際は、規定のサポーターを持参してください。受付と違うサポーターで試合に臨んだ場合は失格となります。
11. 不動立ちで正面への礼、主審への礼、対戦相手への礼、特に試合後の礼は大切です。勝敗の結果いかに関わらず、きちんと礼を正して下さい。試合後のアピール(ガッツポーズや雄叫び等)は禁止です。
12. 主催者はアマチュアの極真武道大会を目指していますので、応援者は相手に対して誹謗中傷のような応援は止めて下さい。
13. 型の部・組手の部入賞者は、型・組手試合終了後に試合を行ったコートで引き続き表彰式を行いますので、試合が終わっても試合をしたコートに待機してください。楯やメダル の授与は当日行いますが、賞状は道場ごとに後日郵送させていただきます。
14. ゼッケンの紛失には、ご注意ください。スペアはありません。
15. 横断幕を張る場合は、必ず主催者に当日 AM8:45~9:15 の間に道場代表者の方より、お申し出下さい。
16. 選手のゼッケン、大会パンフレットと記念品は選手受付時に各道場ごとにお渡しします。道場代表者の方は、会場内ステージ脇（時計の下）までお越しいただき、お受け取り下さい。
17. 選手受付での付添いは、選手 1 名につき付添者 1 名となります。
18. W エントリーの選手は、午前の受付において、組手（計量）と型を同時に受付となります。
19. W エントリーの選手で、型のみを欠場した場合においても、受付は午前の受け付けとなります。午後からは、受付いたしません。間に合わない場合は失格となりますので、ご注意下さい。

選手・保護者の皆さまへ！

極真直接打撃制カラテは、武道の精神をもっとも大切にしています。試合の勝敗も大事ですが、空手家として試合内容、立ち居振舞い、挨拶、礼儀を重視しますので下記の事項は必ず守って下さい。

『勝って驕らず、負けて腐らず』で大切なことは対戦相手を通して勝敗もありますし、また、自分自身が磨かれ心も技も体も強くなっていくのですから、感謝と尊敬と謙虚な心が大切であるという事を悟していただければ幸いです。大会ではお互いの心と技を磨き合うがゆえに、試合後尊敬の念が生まれます。大会はお互いが競う場でもあり、成長する場でもあります。一試合ごとに自分自身が磨かれ、そしてその精神を社会に還元していかなくてはなりません。

人間一人一人に一つの命が宿っています。命はなによりも尊いものです。この命を持った選手が「心技体」を競うのですから、単に相手を倒して喜ぶような心では粗野になります。この尊い命を尊重するためには勝っても負けても礼を持って接して下さい。

渾沌とした今の日本を救えるのは、日本精神、武道精神を除いては他にありません。選手諸君、堂々と戦っていただきたいと思います。

主席師範 田畑 繁